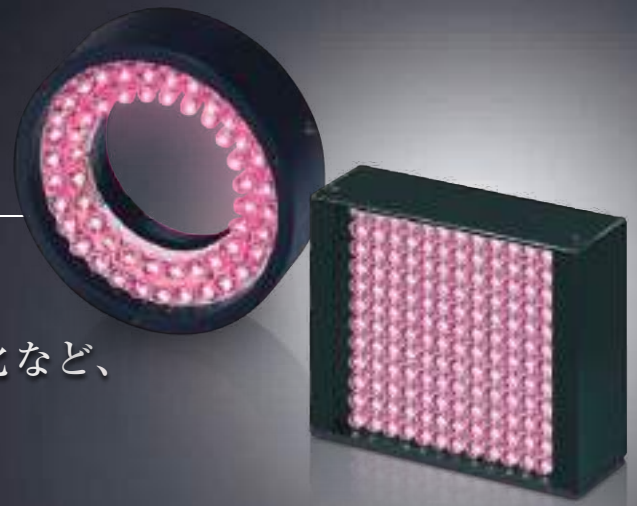


赤外照明 [1200nm & 1450nm]

Infrared series

ワーク内の異物検出や水分の可視化など、今まで困難だった検査が可能に

DC24V製作可能

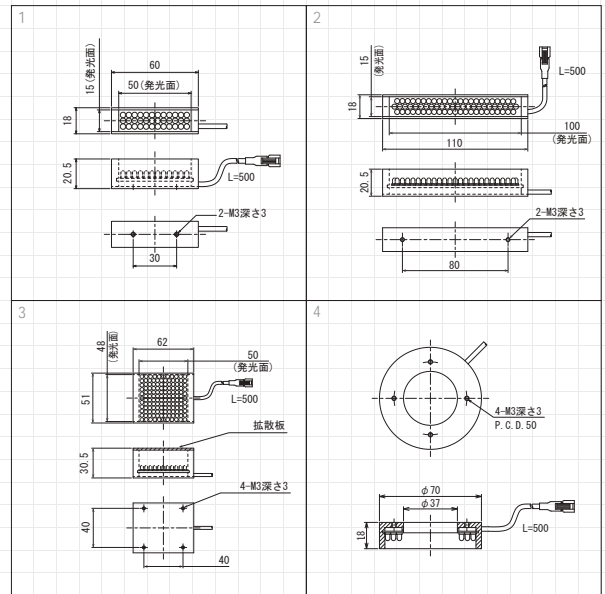
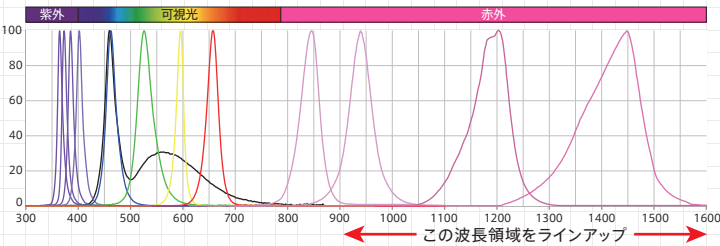


型式	発光色	消費電力 (W)	入力電圧	適用電源	外形図
IDBA-C50/15IR-1200	IR-1200	1.5	DC12V	ILP-30M2 (P.85) IDGBシリーズ (P.81) その他、オーバードライブ電源など	1
IDBA-C100/15IR-1200	IR-1200	3.4			2
IDBA-C50/50IR-1200S	IR-1200	6.8			3
IDR-F70/37IR-1450	IR-1450	4			4
IDBA-C50/15IR-1450	IR-1450	1.5			1
IDBA-C100/15IR-1450	IR-1450	3.4			2
IDBA-C50/50IR-1450S-C1	IR-1450	6.8			3

★上記以外にも可視光照明と同じ形状のものが製作可能です。

赤外波長帯による特性

紫外光や可視光と比較すると、赤外光は散乱率が非常に小さいため透過率が高くなり、液体やインクを透過させます。また、ハロゲンと違い波長域が限定されるため、感光ワークにも影響を与えません。IR-1200series/IR-1450seriesは波長900~1700nmに高い感度を持つInGaAsカメラと使用することで、可視光照明では検査できなかったワークにも対応することができます。



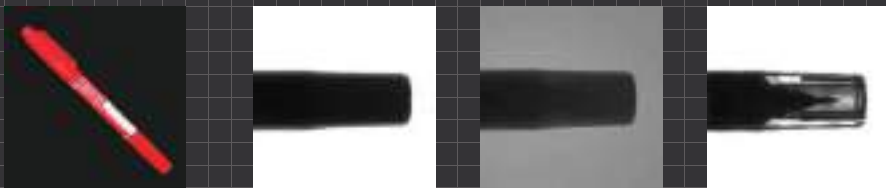
効果 IR透過により、液中状態の認識・透過度合により種別判別が可能です。また、文字や柄を透過し容易に外観検査が可能になります。

水は赤外1450nmの光を吸収し黒く映る。赤外850nm/可視光では透過する。



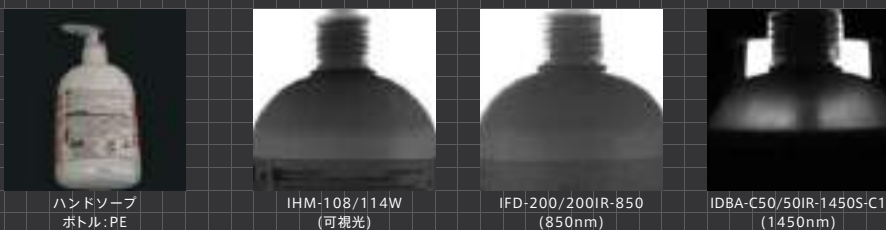
茶褐色瓶 (左:植物油, 右:水) 本体:硼珪酸ガラス キャップ:PP
IH-108/114W (可視光) IFD-200/200IR-850 (850nm) IDBA-C50/50IR-1450S-C1 (1450nm)

可視光・赤外850nmでは樹脂キャップが透過できずペン先が見えない。赤外1450nmはキャップを透過しペン先の検査が可能。

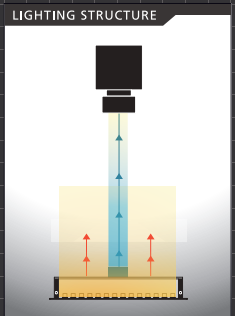


油性マーカー 胴部:再生樹脂 キャップ:PP
IH-108/114W (可視光) IFD-200/200IR-850 (850nm) IDBA-C50/50IR-1450S-C1 (1450nm)

可視光・赤外850nmではボトルを透過できず内容物の有無が判断できない。赤外1450nmはボトルを透過し、内容物(液体)は透過しないので、内容物の有無・量の判別が容易。



ハンドソープ ボトル:PE
IH-108/114W (可視光) IFD-200/200IR-850 (850nm) IDBA-C50/50IR-1450S-C1 (1450nm)



インテックス
ライン照明
リング照明
バー照明
透過照明
ドーム照明
同軸照明
特殊照明
電源
オプション